
岐阜県立岐阜北高等学校

校長 高木俊明
学校住所 岐阜市則武清水 1841-11 電話 058-231-6628

1 会議の名称 岐阜県立岐阜北高等学校評議員会（第2回）

2 会議の構成 委員 浅野 美代子 いづみ第2幼稚園長（欠席）
岡田 忍 同窓会副会長（欠席）
小林 月子 岐阜大学名誉教授
鈴木 雅雄 弁護士
谷藤 邦彦 元PTA会長

（委員名は五十音順）

学校側 高木 俊明 校長
加藤 拓真 PTA会長
宇佐美 理恵子 事務部長
池田 哲也 教頭
上田 和伸 教頭
川瀬 隆 教務主任
笠井 寛 進路指導部長
川島 隆史 生徒指導部長
今井 健治 特別活動部
高橋 淳 保健厚生部長
日比野 彰朗 カリキュラム開発部長
山田 雄太 カリキュラム開発部

3 会議の目的 学校運営等について、地域住民代表や関係機関等代表および企業関係者等から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、「開かれた学校づくり」「活力ある学校づくり」「規律ある学校づくり」を推進する。

4 会議の開催 令和2年1月15日(水) 14:00～15:50 岐阜北高等学校(校長室)
委員3人と学校側12人が出席

5 会議の概要 (1) 開式 (14:00～14:10)
・ 学校長挨拶

(2) 授業参観 (14:10～14:40)

(3) 協議 (14:40～15:50)

- ・ 生徒及び保護者対象アンケート結果について
- ・ 自己評価について
- ・ 地域共創フラグシップハイスクール事業について
- ・ 北高活性化プロジェクトについて

(1) テーマ 授業参観のご感想等

意見1 とても真面目に取り組んでいた。

意見2 先生方がはきはきと前向きに授業を展開していた。

意見3 ICT機器を利用して良かった。先生は書くことに時間をとられず、時間が有効に使われていた。また、先生が言いたいことが伝わりやすいと感じた。

意見4 ICT機器を活用する授業でも、声量の大きさは大切である。聞きやすい声量になるよう配慮してほしい。

意見5 机の配置はどのようにしているか。

学 校 ペア学習、グループ学習等に応じて決めている。

(2) テーマ 生徒及び保護者対象アンケート結果及び自己評価について

意見1 進学重視型単位制とあるが、何か目標はあるのか。

学 校 単位制になることで、教員数が増える。このことにより、カリキュラムに柔軟性が生まれ、進路に応じた多様な学びができるようになる。

意見2 交通事故については、自転車関係が多いか。保険には入っているのか。

学 校 ほとんどが自転車関係の事故である。加害者になることもあるので、保険については可能な限り加入してもらうようお願いしている。

意見3 不登校、不適應の生徒への対応はどのように行っているのか。

学 校 無理やり教室へ行かせるのではなく、それぞれの状況にあわせて対応している。相談室から教室へ通って授業に参加している生徒もいる。

意見4 自己理解を深め、自分で決めることを大切にするよう支援してほしい。

意見5 内面をとらえるような繊細な感覚を大切にしてほしい。

意見6 発達障がいの子への対応はどのように行っているのか。

学 校 本校の生徒は他人に対する理解があり、互いに認めあえる環境がある。教員も生徒一人一人に對してきめ細かい対応を行っている。

学 校 特別支援計画を立て対応することで、様々な力をつける支援ができた。

意見7 SNS関係の事件などで心配されることはないか。

学 校 4月当初に、学年集会などで情報モラルについての指導をしている。

(3) テーマ 地域共創フラグシップハイスクール事業及び北高活性化プロジェクトについて

意見1 生徒、教員の負担にならないようにやってほしい。

意見2 まず、生徒と教員がお互いに自由にやっている姿が良いのではないか。

学 校 評議員の方と生徒との意見交換の場も作りたい。

意見3 P T Aの執行部も生徒との意見交換がしたい。

6 会議のまとめ

第2回学校評議員会では、授業参観後、学校側から生徒と保護者のアンケート結果及び自己評価について、また今年度より開始した地域共創フラグシップハイスクール、北高活性化プロジェクトについて説明し、本校の教育活動に対するご意見、ご提言をいただいた。概ね、学校の取組についてはよいご意見をいただいた。

いただいたご意見を真摯に受け止め、生徒や保護者の期待に応える魅力ある学校づくりに邁進していきたい。